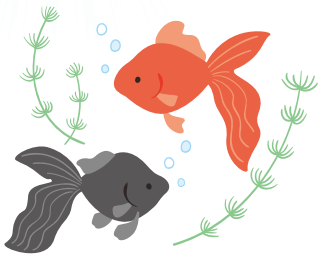
一般社団法人 愛知県訪問看護ステーション協議会 会報

りあん

～きずな～

Vol.23
2025

愛知県訪問看護ステーション協議会
Aichi Visiting Nursing Station Council



会員数	R7.7.31
施設会員	352施設
個人会員	2名
団体･賛助会員	12施設

会長就任のご挨拶

このたび、三浦昌子前会長の後任として、愛知県訪問看護ステーション協議会の会長に就任致しました、森田貞子でございます。

まずは、これまで本協議会を牽引してこられた歴代会長ならびに関係各位の多大なるご尽力に深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

訪問看護は、住み慣れた地域やご自宅で安心して療養生活を送るために、今や欠かすことのできない存在となっております。高齢化の進展、地域包括ケアの推進が求められるなか、私たち訪問看護師の果たす役割はますます重要となってきます。

本協議会は会員の皆さま一人ひとりの力によって支えられています。私はその思いをしっかりと受け止め、現場の声に耳を傾けながら、訪問看護の質の向上と働く皆様の支援に取り組み、また行政・関係団体との連携を強化し、より良い制度・環境づくりにも力を注いでまいります。今後とも、会員の皆様のご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

愛知県訪問看護ステーション協議会
会 長　森田 貞子

令和7年度　通常総会開催

令和7年6月28日（土）、愛知県看護協会を会場として令和7年度通常総会を、出席会員40名、委任状215名で開催いたしました。

第1号議案では令和6年度決算が承認され、第2号議案では任期満了による役員改選の結果、14名の理事（うち新任3名）と2名の監事が選任されました。そして、総会後の臨時理事会において森田貞子理事が会長に就任することを決定いたしました。

また、「2040年に向けて訪問看護に期待すること」をテーマに、山内満氏（愛知県福祉局高齢福祉課担当課長）及び三浦昌子氏（愛知県看護協会会長）から御講演いただきました。

提出議題

報告事項1　令和6年度事業報告

第1号議案　令和6年度決算書類の承認及び監査報告

報告事項2　令和7年度事業計画

報告事項3　令和7年度収支予算

第2号議案　役員の選任について

令和7年度役員（理事 14名　監事 2名）＊下線は新任者

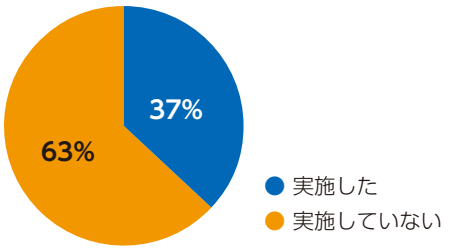
会　長	森田貞子
副会長	岡本晃　近藤佳子
理　事	横井真弓　山端二三子　松本暁美　鈴木和実 鈴木里加　鈴木伸子　川澄明子　西村和子 中村清美　結城房子　前野美紀
監　事	兼松良充　小池三奈美

訪問看護ステーション自己評価実態調査の結果（業務委員会）

愛知県訪問看護ステーション協議会では訪問看護事業所が提供する看護の質を向上させるために自己評価を推進しています。今回業務委員会では自己評価に関する課題を明確にするため、会員事業所の実施状況を調査しましたので、概要について報告いたします。詳細は今後HPに掲載予定です。調査にご協力いただいた事業所の方にお礼申し上げます。なお、調査依頼数378件、回答数145件、回答率38.4%でした。

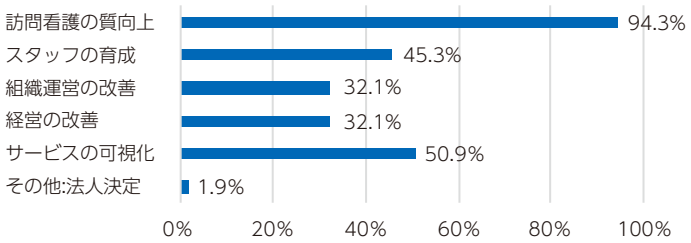
1 自己評価の実施状況

37%が実施していた。　N=145



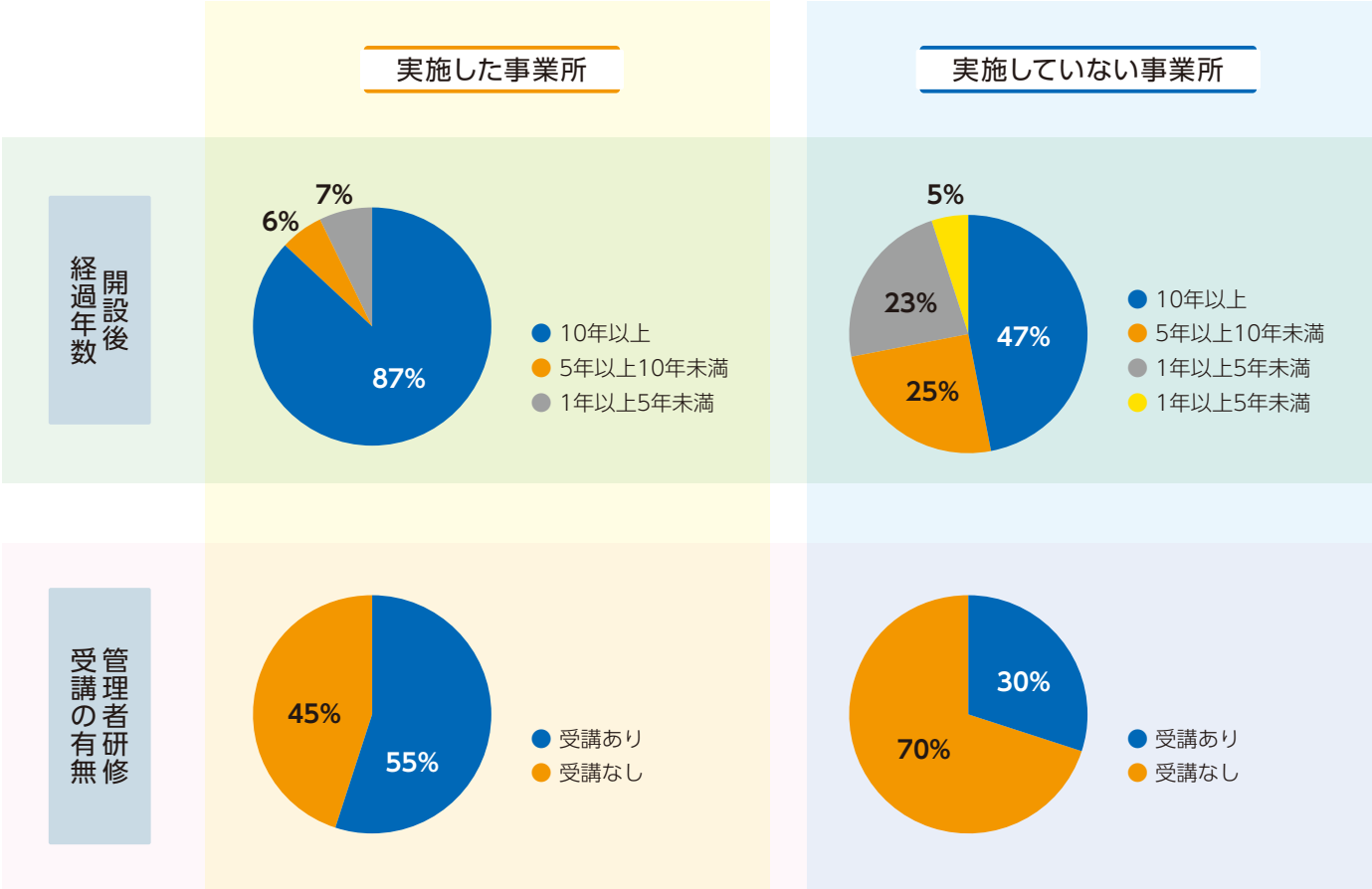
2 自己評価を実施する目的（複数回答）

訪問看護の質向上、サービスの可視化、
スタッフの育成の順に多かった。　N=53



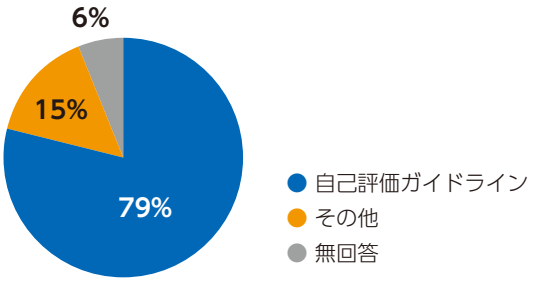
3 事業所背景と自己評価実施状況

実施した事業所のうち87%を開設から10年以上経過した事業所が占めていた。
また、実施した事業所の管理者研修受講ありの割合は55%だったが、実施していない事業所では30%だった。



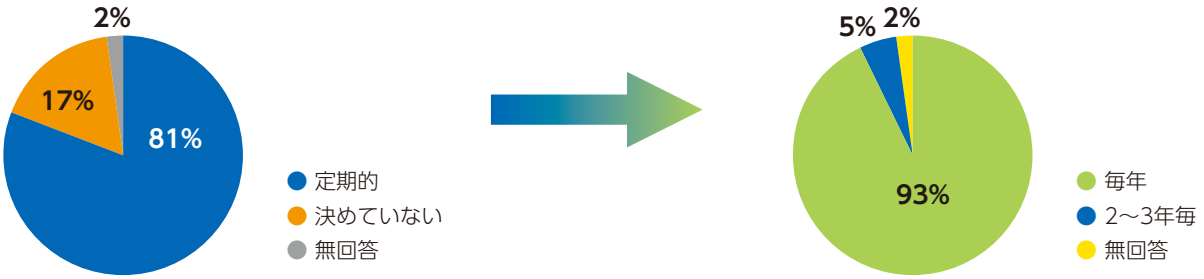
4 自己評価に用いたツール

79%の事業所が
訪問看護ステーションにおける
自己評価ガイドラインを用いていた。



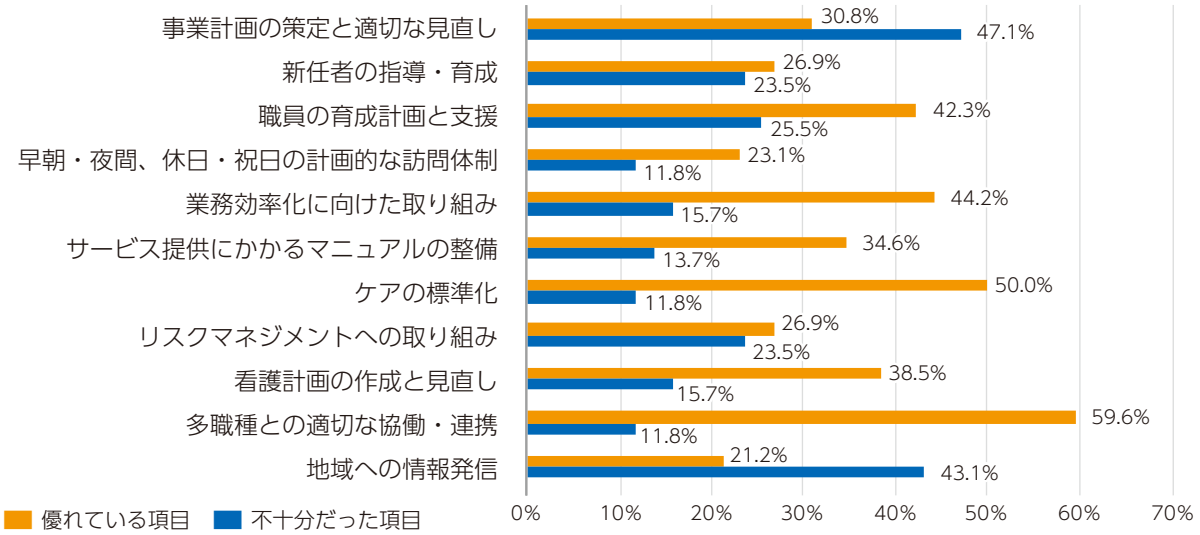
5 自己評価の頻度

定期的に行っている事業所は81%、その内93%は毎年実施していた。



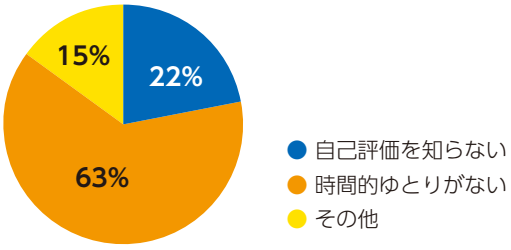
6 自己評価の結果（複数回答）

優れている項目の最多は多職種との協働・連携、**不十分だった項目**の最多は事業計画の策定と適切な見直しだった。



7 自己評価をしていない理由

時間的ゆとりがないが63%であった。
必要性を感じないという回答は0だった。



災害への取組みについて

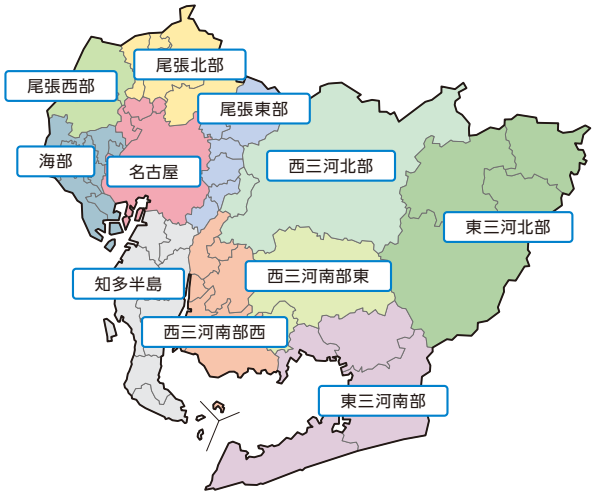
愛知県訪問看護ステーション協議会（以下協議会という）は、2014年に愛知県内の訪問看護ステーションが結束し、訪問看護事業の発展とサービスの質向上を目指すことを目的に設立、2017年より新たに一般社団法人としてスタートしました。目的に沿った活動を継続している中で、2024年元旦に能登半島地震が発生し、8月の宮崎県日向灘沖を震源とする地震後に南海トラフ地震臨時情報として「巨大地震注意」が発表されました。南海トラフ地震発生時には、愛知県でも甚大な被害が想定されていますが、協議会には災害時の対応等のマニュアルがなく、災害発生時の対応について早急なシステム作りが必要と考えられました。

訪問看護ステーションは小規模事業所が多く、1つの事業所での災害対応には限界があります。愛知県内では現在1200ヶ所以上の事業所が活動していますが、地域によって横の繋がりが薄く災害時における連携が図れていないのが現状です。そこで協議会では2024年度より、災害時の訪問看護ステーションとしての自助とともに近隣の訪問看護ステーションと連携を図り（互助）、地域で暮らす人々の減災と訪問看護ステーション自体の事業継続が図れるための情報連携の仕組み作りに取り組むことにしました。

まず、県内訪問看護ステーションの地域ネットワーク（連絡会等）の現状を把握することから始め、地道な調査により44ヶ所のネットワークがあり勉強会等の活動をされていることがわかりました。平時からこのネットワークを基本とした連携を続け、発災時には小規模な地域から大規模な地域へ、さらに愛知県全体にネットワークを拡大し、情報を共有したいと考えています。そして、この貴重な情報を愛知県看護協会や自治体、医師会等と共有することで、いち早く必要な場所に必要な支援が届くようにしたいと考えています。

2025年度は、この災害時の情報共有システムを愛知県内の訪問看護ステーションネットワーク代表者の皆様と共有し、ご意見を頂いたうえで実用可能なマニュアルにしていきたいと考えています。

（　副会長　近藤 佳子　）



左図：愛知県全域の医療圏

愛知県全域を11か所の医療圏に分けて、それぞれの医療圏毎に、協議会の理事を配置し、発災時には理事を中心に被災状況の集約や会員の皆様への情報提供を行う仕組みを検討しています。

協議会が集約した被災状況は、自治体や看護協会等に速やかに情報提供します。

研修会報告

小児訪問看護研修会

講師：しずく訪問看護ステーション　澤野 由佳

テーマ　始めてみよう！小児訪問看護
日時　令和7年4月9日（土）13：30～16：30　場所　オンライン開催　参加者　35名

私は小児病棟、NICU、GCU等を経験し、小児の訪問看護師として働き始めてもうすぐ5年が経ちます。
出会うお子さんはみんな可愛くて、成長する姿を見られるのが嬉しくて、写真や動画をご家族と共有したり、「〇〇ができるようになりましたね」と気づきを伝えたりしてきました。特別意識的に行ってきたことではなかったですが、講義の中で「子どもが育っていく過程を感じ取れると子育てを頑張ることができる」と話がありました。実際変化していくご家族がいたのはこういうことだったのかと腑に落ち、自身の看護を振り返る機会になりました。
看護師になってからずっと小児領域に従事してきましたが、小児看護って難しい！と感じる場面は様々あります。そもそもなぜ難しいと感じるのか、講義の中で言語化していただいたことで、モヤモヤが晴れた気がします。
今回の研修を通して自身の看護を見つめ直し、今後力を入れていきたいことや課題を見つけるきっかけになりました。

（こども訪問看護ステーションてとめと　水越 彩）

災害看護研修会

講師：みんなのかかりつけ訪問看護ステーション　災害看護専門看護師　大久保 貴仁

テーマ　発災時のステーション運営～風水害の対策できていますか？～
日時　令和7年5月17日（土）13：30～16：30　場所　オンライン開催　参加者　70名

介護事業所では、自然災害や新興感染症など大規模災害に対応できるBCP・危機管理が求められており、自然災害では大型台風やゲリラ豪雨などの風水害の発生が多くみられています。当事業所では地震に対してのBCP作成・訓練などの取り組みを行っていますが、風水害への対策が不足しており、発災時のステーション運営について学びたいと考え本研修に参加しました。
研修では、ハザードマップを読み解くこと、災害時の意思決定、風水害への備えと受援など多くの学びがありました。また、実用的なBCP作成や地域連携、また他事業所との情報共有方法など様々な課題に気付きました。今後、事業を継続するために引き続き具体的なBCP策定と訓練を行い備えていきたいと思います。

（刈谷訪問看護ステーション　吉里 朋子）

新規加入事業所紹介

訪問看護ステーションこうのみや

2024年11月に稲沢市国府宮に開設しました訪問看護ステーションこうのみやです。私たちのステーションは利用者様の一人一人が可能な限り居宅で穏やかに生き生きと過ごせるように、そして寄り添いながら利用者様の笑顔がたくさん見ることができる、安心して療養生活が送れるようにと考えながら利用者様と関わっています。
職員が働きやすい職場づくりを目指すこと、利用者様に満足した看護ケアと笑顔を提供することができるように、職員一同で頑張っていきたいと考えています。これからどうぞよろしくお願いします。

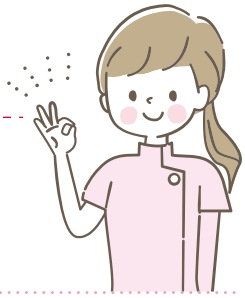
（管理者　藤田 千恵美）

訪問看護ステーションここのあ

名古屋市南区三条に2024年9月に開設しました訪問看護ステーションここのあです。管理者含め常勤2名、非常勤数名、事務員が在籍しています。精神科に特化した訪問看護を提供し、常に利用者の幸福を第一に考え、希望に満ちた未来を築いていくことを理念としています。
一人ひとりに安心して自宅での生活を継続できるように支援し、24時間対応体制や自費でのファミリーサポート（通院・外出支援等）で、ご家族様への支援も行なっております。名古屋市内をはじめ、市外近郊の訪問もご相談により対応しています。どうぞよろしくお願いいたします。

（管理者　相良 智恵子）

なんでも相談 Q&A



会員の皆様を対象に「なんでも相談」を行っています。寄せられた相談より一部を紹介します。

Q 精神科訪問看護基本療養費算定要件研修を受講中である看護師の同行訪問について、複数名訪問看護加算の算定は可能か。

A 看護師が算定要件を満たし届出をしていれば、同行する看護師の算定要件はありませんので算定は可能です。ただし医師の指示書に複数名訪問看護の必要性と理由の記載が必要です。また利用者等に同意を得る必要があります。

参考文献：訪問看護業務の手引き訪問看護の手引き（令和6年版）P.121

Q 契約書・重要事項説明書を変更した際、利用者等に対して、変更点のみの文書提示・説明でよいか、あるいは同意の署名が必要か。

A 厚生労働省の通知によりますと重要事項説明書の内容を変更した場合、あらためて説明し同意を得ることが適切と考えられます。しかし介護報酬改定等に伴う変更については、利用者保護ならびに事業者の事務負担軽減の観点から、利用者負担額改定表を配布する等を行なった上で説明し、その日時・方法・対象者を記録に残すなどの対応も可能と考えられます。

参考文献：変更される重要事項説明書の取扱いについて（介護保険最新情報Vol.740）

賛助会員紹介

株式会社ワイドテック

在宅医療の現場で電話業務負担を軽減する「転送録」

固定電話の日々の転送切替を自動化し、当日当番への転送も自動でOK
・転送先の枠が増やせます　・機器購入は不要。すぐにご利用いただけます　・税別1,000円/月～の低コスト
※在宅医療業界限定
基本料金30%OFFキャンペーン実施中！　詳しくはWebで！　https://www.10so6.com/home_nursing_lp

株式会社日本トリム

弊社は、医療機器である電解水素水整水器製造販売を主軸とした事業を展開しています。

当社は世界に先駆けて水が持つ機能に着目し、25年以上にわたる産学官共同研究により健康をサポートする水、電解水素水の機能、有効性を追求しています。現在では、電解水素水の活用は飲用にとどまらず、血液透析における次世代新規治療法や農作物の栽培など様々な分野へと応用し展開しています。また、グループ会社では　国内最大手の民間さい帯血バンク（ステムセル研究所、東証グロース市場：7096）事業を展開するなど、日本トリムグループはグローバルなメディカルカンパニーを目指しています。

株式会社カナミックネットワーク

国内初の本格AI介護ソフトで2025年問題の人手不足と業務効率化を解決

AIが最適な訪問ルート算出や報告書の自動生成を行い、移動距離を約15%削減、書類作成時間を月23時間以上短縮する。
業務効率化によってケアの質を高め、売上拡大やスタッフの処遇改善にも貢献。
AI100 Visionのもと介護現場の生産性向上と次世代ケアの標準化をAIで実現。

編集後記

愛知県訪問看護ステーション協議会は森田貞子新会長が就任し、新体制がスタートしました。
会報誌「りあん」は新体制のもと、会員の皆様にトピックスを伝え、身近な存在となるよう努めてまいります。
原稿作成にご協力いただいた皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。
（広報委員会）

一般社団法人　愛知県訪問看護ステーション協議会

〒466-0054名古屋市昭和区円上町26－15高辻センター 3階
TEL:052-746-6007　FAX:052-746-6011　https://aichi-vnc.com　発行責任者／森田 貞子　発行日／令和7年8月31日